

知床森林センター 広報紙

知床の森から



平成24年5月 第137号

北海道森林管理局 知床森林センター
〒099-4355 北海道斜里郡斜里町ウトロ東番外地(国設知床野営場内)
電話 0152-24-3466 FAX 0152-24-3477
ホームページ <http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/index.html>

平成24年度イベント決まる！！

～ 知床の四季折々の魅力を感じてもらうために～

知床森林センターの平成24年度のイベントスケジュールが決定しました。今年度も昨年度に引き続き、多くのロングランイベントを期間が空くことなく実施し、来館する皆さんにいつでもイベントに参加・体験できる体制にしております。特に、木の枝や松ぼっくりを利用したクラフトなどの木工作体験は開館時は通年でいつでも体験できます。

短日実施イベントもこれまでどおり開催しますし、イベントは参加しやすいよう土曜日に多く開催するようにしております。

また、地域行事や各種団体との連携したイベントにも積極的に参加・実施していく予定であり、既に6つの地域行事への参加や3団体との連携イベントを決定しております。

知床森林センターでは、様々なイベントを通じ、世界自然遺産「知床」の四季折々の魅力を広く知っていただく活動を1年を通して行っていきたいと考えております。

「知床の森から」をご覧の皆様、「知床の魅力を多くの方々に余すことなく伝えるため日々たゆまず活動を行っている！」知床森林センターに是非、足をお運びいただきませうようよろしくお願い申し上げます。


所 長 南 達 彦

※イベントスケジュールについては次ページ以降をご覧ください。

森林レクリエーションin知床

知床世界自然遺産地域及び周辺の森林をフィールドとするイベントです!!

北見・網走経由で送迎バスが出ます 



6/6 水 **6/9 土**


樹木医と歩く春の森と羅臼昆布の加工体験

○自然観察教育林
「幻のボンホロ沼」目指して森林散策しませんか。
羅臼こんぶの加工体験付き!!

H25 3/9 土

かんじきで冬の森林散策


○フレペの滝周辺
海上を漂う流水や凍りつく滝を散策しながら春を迎えようとする原生的な森林を散策します。



H25 2/16 土

歩くスキーで冬の森林散策


○オシンコシン高台周辺
押し寄せる流水を觀賞しながら、知床の原生的な森林を散策しませんか?



10/6 土

紅葉の羅臼湖森林散策


○羅臼湖周辺
知床の森に点在する5つの沼と神秘的湖「羅臼湖」を巡る紅葉散策です。




9/8 土

知床の森づくり体験 (植樹体験)


○羅臼町春苅古丹
知床の深山で植樹活動を行います。知床の森づくりを体験してみませんか?




9/29 土

樹木医と歩く知床の森林散策

○オシンコシン高台周辺
オシンコシン高台周辺を舞台に知床の原生的な森林の営みについて樹木医が解説を行います。



清里・斜里から送迎バスが出ます 

森とのふれあい

知床の森の恵みに触れるクラフト体験のイベントです!!

7/28 土

知床の森でデイキャンプ

○知床森林センター
キャンプ場の森でデイキャンプを開催! 自由研究にぴったりの木工作も行います。



12/15 土

マツの生葉を使ったクリスマスリース作り


○知床森林センター
天然のトドマツの葉や松ぼっくりなどの素材を使って豪華クリスマスリースを作ります。



1/12 土

自然の素材を使った楽器づくり

○知床森林センター
自然の素材を利用した楽器を作ります。作った楽器で演奏会も行います!!



平成24年度調査業務のポイント!!

今年度の調査業務予定は、毎年行っているミズナラ堅果結実調査と赤外線カメラによる野生生物自動撮影調査、そしてエゾシカによる食圧調査(コドラート調査)の定点撮影に加え、5年ぶりの下層植生の詳細調査も行います。

この食圧調査は、柵で囲っている保護区と柵のない対象区での植生の変化を調べる調査で、前回は平成19年に行いました。同じ植物、例えばヨブスマソウでも柵内外では約2倍、生長量が違っていました。食圧のほかにも踏圧がかなりあるようです。

調査結果につきましては、調査が終了次第、広報紙などを通じてお知らせします。



昨年5月のコドラートの様子



不作だった昨年のミズナラ堅果結実調査の様子

ロングランイベント年中開催!!

年間通じて体験できるクラフト制作などのイベントです!!

私たちの生活に一番身近な木製品のお箸。暖かみあふれる手作りのお箸を作りませんか? プレゼントやお土産としてもいかがでしょう。

箸づくり

4/16(月)~5/22(火)



木を原料とする「紙パック」を漉いてポストカードを作ります。手作りのカードで大切な人へメッセージを贈りませんか?

紙すき体験

5/24(木)~7/1(日)



夏休み木工作

7/14(土)~8/31(金)

夏休みを利用して、じっくり木工作に取り組んでみませんか。自由研究にもぴったり!!



夏休み森林教室

7/23(月)~8/24(金)

緑あふれるキャンプ場で自然観察やネイチャーゲームを行います。森林で遊びながら楽しく学びましょう。

ハンゴンソウなどの知床の森の素材を活用して草木染めを行います。思い思いにしほりをいれオリジナルの模様染めあげましょう!!

草木染め体験

9/3(月)~11/4(日)



木の実や松ぼっくりなどの、天然の素材をふんだんに使ってオリジナルリースを作りましょう!!

リースづくり

11/8(木)~12/25(火)



かんじき森歩き

1月下旬~3月中旬

海や流水が見える遊歩道、散在する巨木たち。そんな景色の中かんじきを履いて歩いてみませんか?



日用品づくり

1/7(月)~3/17(日)

身近な木製品を手作りに作ってみませんか?暮らしの中に手作りの木製品を!!

4月16日からロングランイベントとしてお箸づくりを開催しています。木製の日用品の手作り体験を通じて木に親しんでいただきたいというもので、GW明け時点で、観光や地元の方など33名の方に体験していただいております。手作りのお箸でごはんを食べることで、いつもとは違った気分で食事を楽しむこともできるのではないのでしょうか。

本体験は5月22日までの開催ですが、年明け1月7日(月)からも木を使った日用品作り体験を予定しております。冬のイベントにもご期待ください。

ロングランイベント
箸づくりの報告

知床
づくり
永久の
協議会
の森
林

3月21日(水)、知床永久の森林づくり協議会の総会において平成24年度の活動等の検討が行われ、当面の活動として下記の3回のイベントを開催することとなりました。

○樹木医と歩く春の森と羅臼こんぶの加工体験
~知床の森と海のつながり~

6月6日(水)、6月9日(土)開催

○まるごと体験! エソシカ対策!!
~巨木とのふれあいから考える。知床の森のこれからを~

6月23日(土)開催

現在参加者募集中です。応募方法等詳しくはホームページでご確認ください。

(本事業は国土緑化推進機構の緑の募金事業の支援を受けて実施するものです。)

知床 は今

4月中旬に入り根雪が溶け始めたと思ったら一気に融雪が進んでいます。鳥がさえぎり暖かい日差しが降り注ぎ、長かった冬の帳尻を合わせるかのように春を迎えています。アメダスデータによると、今冬(H23.11~H24.3)の合計積雪量は658cm。H19年の冬から昨年の冬までは年間500cmを下回っていたので、今冬は特に雪が多いことが分かります。

3月になってもまだ最深積雪が1mを超えていたため、エゾシカが山で餌となる草を食べることができず、住宅街に出没して除雪されている道路脇の草を食べたり、街中の木の皮を食べるなどの光景が頻繁に見られました。新聞等でも報道のとおり、エゾシカ等の侵入を防ぐために住宅街が柵に囲まれているウトロにおいて、切れ間から侵入したエゾシカの追い出し作戦が4月19日、5年ぶりに斜里町の主導で行われ、当センターの職員もお手伝いしてきました。

例年大型連休前に開通している知床横断道路も積雪が多いため開通が延長となるなどまだまだ冬の名残がありますが、冬が辛く大変だった分、余計に春が待ち遠しく感じます。(ミ)



春の訪れを感じさせてくれる水芭蕉
(4月29日撮影)

ボランティア活動施設から

新年度を迎え、当センター併設の知床ボランティア活動施設(通称「ボラ施設」)もどことなくフレッシュな雰囲気漂っています。新たな事業年度の始まりだからでしょうか?それとも春の陽気のせいでしょうか?一体全体何故でしょう?

その答えはズバリ、「人」にあります。何と、当センターに今年社会人となったばかりの新人がやってきたのです。

ボラ施設のお客様の案内が彼の重要な仕事の一つなので、彼は勤務時間のうち相当な割合をボラ施設内で過ごすことになっています。彼のサポートで木工工作を体験した方からは非常に好印象だった旨のコメントをいただきました。また、お客様に安全に木とふれあっていただくため、展示の一つである「木のポンコロ沼」の何千個もある木球を一つずつアルコール消毒するなど、地道な作業もしっかりとこなしてくれます。

がんばる若者の姿を応援しにボラ施設へ来てみる、というのもありではないでしょうか?(おじさんが出てくる場合もありますが…)

通年開催のロングランイベントや木工工作体験は今年度も引き続き実施しますし、館内展示も随時リニューアルしてより一層の知床の森林情報の発信に努めていきたいと考えておりますので、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。(イ)



4月より所長として参りました南達彦と申します。前任地は道北の「しじみ」で有名な天塩町の留萌北部森林管理署で、道東方面の勤務は初めてです。

こちらに赴任する際に流氷がまだ残っており少し驚きましたが、世界自然遺産の知床の素晴らしい風景を目の当たりにし感動したところです。知床の持つ魅力を多くの方々に知っていただき、森林・林業への関心を高め、理解を深めてもらう活動に日々精進して参りたいと存じます。よろしくお願いいたします。



転入者の紹介

4月より新規採用となりました大友宏多朗と申します。出身は道内の江別市で、知床に来たのは今回が初めてです。地域住民の方やイベント参加者の方々と一体となり、知床の森づくりに励んでいきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



次回は平成24年7月中旬の発行予定です。

- ★ 知床森林センターホームページ「ブログ・知床の四季」では旬な知床情報をお届けしています!
- ★ ライブカメラではオホーツク海に沈む夕日や知床連山の様子を見られます(下記URLからアクセスできます)。
→ <http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/index.html>